

団体名： 大府商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																		
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考					
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標	実施方法			
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。また、課題解決提案・経営革新への積極的な支援を実施する。 特に巡回指導は4人の経営指導員により、多忙な小規模事業者にとっては訪問することで時間的短縮が図られる上、出向いて聞くまでもない様な些細な相談を受けることができる。	巡回指導 実企業数 250件 延べ件数 617件 窓口相談指導 実企業数 386件 延べ件数 1,169件 課題解決提案件数 27件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 108.1%)			指標	課題解決提案件数 (達成度 67.5%)			小規模事業者に対し、補助金申請のノウハウなど支援を効果的に行う事ができた。(小規模事業者持続化補助金の申請件数16件、採択件数15件、採択率93.8%)	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法	小規模事業者は様々な角度から支援が必要であることを考慮し、重点的に支援を行う。今後も現行どおり計画目標を定めて継続実施する。
記帳継続指導	正しい記帳と帳簿償行を身につけ、経理管理や納税の適正化を促す。	指導対象企業数 91件 指導日数 397日 指導延べ回数 1,420回	小規模事業者	指標	指導対象企業数 (達成度 108.3%)			指標				小規模事業者の記帳意識の向上をはかり、適正な税務申告指導を図るとともに、経営改善がなされた。	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法	巡回・窓口やホームページによるPRなど、新規加入促進を積極的に行い、指導対象企業数の増加に努めると共に、経営状況に応じた提案型指導を心掛ける。
講習会等	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。具体的には月1回の定例税務相談を始め年末調整、確定申告の勉強会及び集合受付、経営に関する講習会を開催する。	集団指導 4回 延べ48件 個別指導 50回 延べ275件	小規模事業者	指標	集団指導参加者数 (達成度 28.2%)			指標	個別指導参加者数 (達成度 56.8%)			定例の集団及び個別講習会を開催することにより、小規模事業者が税務、金融、労務について正しい知識を身につけることができた。	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法	定例の講習会は広く認知されている。定例以外でも時代のニーズにあった有益性の高い講習会を企画する。次年度は税務講習会を一部集約し、効率的な運営に努める。
若手後継者等育成事業	小規模事業者・中小企業者は大企業とは異なり、自己変革に繋がる機会が少ない。この状況を変えるため小規模事業者等の自己研鑽、人格教養、経営能力の向上、企業の発展、並びに地域社会の繁栄に貢献し、会員相互の連携と親睦を図る事を目的とする。	大倉公園つつじまつり、大府夏まつり、研修会等事業開催回数 青年部 10回 女性会 14回 延べ参加者数 657名 (青年部364名、女性会293名) 青年部会員数 68名 女性会会員数 63名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）並びに女性経営者等	指標	青年部会員数 (達成度 115.3%)			指標	女性会員数 (達成度 98.4%)			各種事業の企画・運営することにより、会員の資質向上を図る事が出来た。又、地域の催しへ参画することにより大府市の活性化に繋がるだけでなく、青年部、女性会という団体を市民に向けてPRできた。	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法	青年部は、経営者等の資質向上に努め、女性会は、高齢化が進んでいる事から、引き続き若手会員の増強を図り、今後の事業運営の安定を図る。
若手後継者等育成事業（1）事業承継塾（セミナー）【青年部】	中小企業経営者の高齢化が問題となっており、高齢化が進むと企業の業績停滞などが懸念される。また、経営者の高齢化が進んでいるのに関わらず、国の調査結果では、承継準備を行っている経営者は半数にとどまっている。 このことは、大府市内の事業所においても同じ状況であることから、円滑な事業承継が出来るよう、経営者・後継者に対し事業承継に関する知識・意識向上を図るセミナーを開催する。 本セミナーは現経営者、後継者が集まる青年部員を主な対象とする他、会議所の一般会員も対象とする。	5回シリーズセミナー参加者数 延べ48名 参加者数 平均9名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）並びに女性経営者等	指標	参加者数（各回） (達成度 45.0%)			指標	満足度 (達成度 142.9%)			事業承継に対し意識をもって取り組んでいる企業が少いためか参加者は目標を下回る結果となった。しかし、参加した企業においては、真剣に将来を見据えた企業経営を構築する機会となった。	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法	実施しない
				目標数値	20	実績数値	9	目標数値	70	実績数値	100					自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法	廃止する
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法	廃止する

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 大府商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等	備考
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	事業評価	自己評価	調査結果	必要性		
若手後継者等育成事業 「全国会長研修会」【青年部】	事業者にとって「繋がり」とは、売買関係だけではなく、同業者であってもしっかりとつながることができるパートナーの事をさす。 地域活性化の高い志を持つ「会長」が一堂に会する全国会長研修会に参加することにより、地域経済を担うリーダーとしての資質向上と、意識の高揚を図る自己啓発の場となる。青年部の課題等について意見交換を行い、青年部組織の活性化と一層の充実を図り、新たな人脈づくりの場とするなど、より実りある研修会とし、今後の青年部活動に資することができる。	参加者数 ・青年部会長 ・次年度会長予定者 ・顧問（東海ブロック）計3名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）並びに女性経営者等	指標	参加者数 (達成度 100.0 %)	指標	満足度 (達成度 142.9 %)	全国的な青年部会員との交流によって、見聞を広めることができた。記念講演により「将来を見据え先見性」の重要性を学ぶことができた。	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	必要性	補足	目標	31年度も引き続き、全国会長研修会へ参加する
若手後継者等育成事業 「ビジネスで求められるコミュニケーション力向上」【青年部】	「伝わる話し方」とは、「相手のアクションが生まれる」話し方。言いたいことが一瞬で要約できる人、緊張せずに堂々と話せる人、自分の意見がちゃんと見える人は、話が明確で、無駄がなく、メッセージをしっかりと相手の心に届けることができる。そして目の前の人を鼓舞し、勇気づけ、行動を起こさせる。そんな「相手のアクションが生まれる」話し方を身につけ、自身のコミュニケーション能力を引き上げ、周りの人との素晴らしい人間関係を手に入れるセミナーを開催し、日頃の仕事に活かすと共に、今後の青年部活動に資するものとする。	参加者数 72名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）並びに女性経営者等	指標	参加者数 (達成度 240.0 %)	指標	満足度 (達成度 142.9 %)	本セミナーを通じて、「自分のタイプの特徴」、「人のタイプ」、「自分のタイプは他のタイプの人からこう思われている」など、大まかなタイプの特徴・傾向を知ることができ、相手のタイプ（特徴）を踏まえた、コミュニケーションの取り方（本人本位ではなく、他人本位）は、有効的な人間関係の構築には必要不可欠だと改めて感じさせられました。本セミナーで得た知識は今後の青年部活動を実施する上で、大変生きるスキルとなる。	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	必要性	補足	目標	今後も青年部活動、事業所の事業活動に繋がるセミナーなどを企画・立案し開催する。
若手後継者等育成事業 「女性経営者が健康で積極的な人生を歩むために講演会」【女性会】	人生100年時代と言われるなか、世の中では、これまで以上にシニアの活躍が求められる。そこで今回は、女性経営者を対象に、健康で積極的な人生を歩むには、何が重要なのかについて、講演を通じて学び、女性経営者としての資質向上に資するものとする。	参加者数 52名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）並びに女性経営者等	指標	参加者数 (達成度 173.3 %)	指標	満足度 (達成度 142.9 %)	目標参加人数30名を大幅に超える参加者実績を作ることが出来た。また参加者の満足度も非常に高く有意義な事業となった。	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	必要性	補足	目標	女性会会員の資質向上に努める研修を継続実施
商店街振興事業（げんき商店街推進事業）	小規模商店の現状はいまでもなく厳しい状況にあり、中心市街地の衰退は著しい。このような厳しい状況を少しでも打破するためには、魅力ある商店づくり（個店対策支援）を実施することにより街にも活気が生まれ、ひいては、地域活性化が図られる。	「おおぶ・逸品運動」参加店 29件 「おおぶふれあいゼミナール」参加店 62件 「大府あきんど塾」参加店 31件	小規模事業者等	指標	参加事業所数 (達成度 61.0 %)	指標	満足度 (達成度 %)	個店の魅力を消費者に伝える事ができ、新規顧客の獲得や店との交流が生まれた。また、店主同士の意見交換を通して、「横のつながり」ができ、地域商業活性化の一助となった。	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	必要性	補足	目標	各店主が目指す数値目標を明確にし、より効果の高い事業となるような企画を実施していく。次年度は実施方法を一部変更し、効率的な実施をする。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。